

活用して
ください

ご自宅の状況を正しく把握するために 放射線量の訪問測定と除染相談

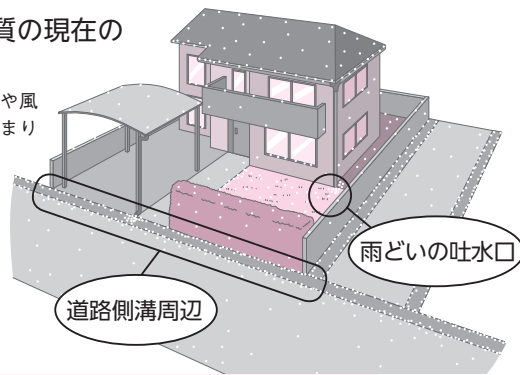
地表面での測定が有効

現在、市内の空間放射線量(地上1メートルの高さで測定した場合など)は低減が続けていますが、放射線を発する放射性物質は、雨どい下や水のたまる所、風による吹きだまりなどに集まり、局所的に放射線量が高くなる傾向があります。

そのような箇所においても、距離による低減により、地上1メートルで測定した場合の空間放射線量は周囲と大きくは変わらず、0.23マイクロシーベルト/時を下回る場合も多くあるため、範囲の特定には地表面での測定が最も有効です。

放射性物質の現在の分布状況

水のたまる所や風による吹きだまりなどに偏在



各家庭に合わせた対策を

市の放射線量の訪問測定では、測定経験豊富な測定員が伺い、地上1メートルの高さに加え、地表面での測定も行っています。放射性物質が多く集まっている場所の確認を行いながら、放射線に対する防護の考え方、除染作業方法のアドバイス、その他放射線に関する情報等をお伝えして、各家庭の状況に合わせた対策を提案しています。

敷地の状況を正しく把握するためにも、ぜひ訪問測定をご活用ください。訪問測定の申し込みは、放射線量測定コールセンター(☎7168-1037)で受け付けています。

ただ今、準備しています

除染作業の説明動画(DVD)

個人宅などで、放射性物質が多く集まる代表的な箇所の除染作業を分かりやすくお伝えするために、作業内容の撮影を行い、動画の制作を進めています。完成した動画は、市のホームページで公開するとともに、DVDの無料配布を行う予定です。



▲撮影の様子

◎詳細については、本紙12月1日号でお知らせします

除染作業道具の貸し出し

除染作業に使用する道具の貸し出しについて準備を進めています。作業に使用する道具に特殊なものはありませんが、市がこれまで行ってきた町会除染等の経験から、作業に役立つものをそろえる予定です。

貸し出し
道具の一例



▶ワイヤーデッキブラシ(右)、
角形スコップ(左)

☎放射線量測定コールセンター☎7168-1037・放射線対策室☎7168-1036

放射性物質の検査結果

■市内の農産物 N 農政課☎7167-1143	
[北部]里芋、白菜[中央]里芋、インゲン豆、春菊、京芋、ヤツガシラ[南部]インゲン豆、カブ[手賀沼周辺]コボウ、大根、キャベツ、トマト、カブ	検出下限値未満 (☎134:6.27~11.52、 ☎137:5.67~10.36)
(10月23日~11月2日検査分)	
■給食食材 ㊦ 学校保健課☎7191-7376	
牛乳、米、ブロッコリーなど5品目	検出下限値未満 (☎134:10、☎137:10※ ※飲料牛乳は各1)
■小中学校(提供した給食1食分) ㊦ 学校保健課☎7191-7376	
自校調理13校、給食センターの提供食	検出下限値未満 (☎134:0.8~1.3、 ☎137:0.9~1.4)
(10月26日~11月2日検査分)	
■保育園(提供した給食1食分) ㊦ 保育課☎7167-1137	
公立・私立合計9園の提供食	検出下限値未満 (☎134:0.59~0.69、 ☎137:0.55~0.74)
(10月22日~29日検査分)	

■表記の説明
N=NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータによる検査
㊦=ゲルマニウム半導体検出器による検査
☎=放射性セシウム
 数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム
検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと
 ※検査機器が異なるため、下限値の設定が異なります。NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ検査で、数値が検出された場合、より精密な測定が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」で再測定を行います
 品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることが出来ます

東京電力に賠償体制の早期整備を要望

福島第一原子力発電所で発生した事故に伴い、市と市民・事業者が放射能対策に要した費用に関し、関係原子力事業者である東京電力が賠償すべきものとして、市は10月17日、それぞれが直接賠償を請求できる体制を早期に整えることなどを強く求めた要望書を、東京電力へ提出しました。



▲東京電力に要望書を手渡す石黒副市長(写真右)

要望書の骨子▶市と市民・事業者が要した放射能対策費用等の直接賠償体制の早期確立▶汚染土壌等の処分場所の確保に関する、原因者として必要な措置▶市と市民・事業者に対する原因者として謝罪と説明
 ☎放射線対策室☎7168-1036

南部クリーンセンターの焼却灰を仮保管庫へ搬入

放射能濃度が最終処分における国の基準を超えたことから、これまで同センター建屋内で保管を続けてきた焼却灰を敷地内に完成した仮保管庫へ搬入するため、11月5日に作業を開始しました。搬入量は、ドラム缶約1,800本、焼却灰量は約370トンになります。搬入時には、ドラム缶が倒れないように金属バンドで束ねたり、焼却灰が漏れていないことを確認するため随時測定したりするなど、細心の注意を払いました。搬入終了後には、同保管庫周辺における空間放射線量の公開測定を行う予定です。詳細は、決まり次第市のホームページでお知らせします。
 ☎南部クリーンセンター☎7170-7080



▲鉄筋コンクリート造の仮保管庫への搬入作業

Q これからどうしていきたいですか?
 今回のことで、自分で行動してこそ、その結果をきちんと受け入れられることを実感しました。思いをぶつけて行動することはとても大変なことですが、そういうことができる町であるように、地域とのつながりを面倒がらず、一員として動いていきたいと思っています。その術(すべ)や仲間を持っていることも幸せなことだと思います。



▲昨年8月の富勢小の除染活動に参加

Q おやじの会ではどうでしたか?
 おやじたちの間で「それぞれの家庭はどう思っているか」「おやじとして何をすべきか」などをよく話し合いましたね。ただ、よく分からない中で活動したことが間違っていたら?という懸念が拭い去れず、学校の要請に合わせて動くことにしたんです。それが昨夏の富勢小での側溝清掃等の除染作業でした。同じく夏休みに行われたPTAと学校、地域のかたちによる校庭等の除染活動にも参加しましたが、どちらも作業で線量は低減されましたので、やってよかったと思っています。

Q 今はどうしていますか?
 今は特別な対応を取ることもなく生活しています。線量計で生活空間の放射線量を測り、放射線を数値で見られるようになったことが非常に大きいです。見えるようになれば、適切な対応が取れますから。また、時間を経て情報も精査され、懐疑的だった情報源にも一定の信頼が持てるようになったことも一因と言えますね。

Q 柏の放射線量が高いことを認識した当時の状況は?
 何はともあれ、子どものことを心配しました。ニュースや報道、新聞などの情報も混乱していて、どれを信用してよいか分からず、「どうしよう」「今、何をすればよいのだろう」と「不安」の一言に尽きました。その後は、ネットの情報を参考に、子どもたちにはマスクをさせ、外遊びを自粛、ミネラルウォーターを使用し、週末は放射線量の低い地域に行って累積線量を少しでも下げる努力をしました。



▲小林剛さん

Q 私がお考え、行動したこと
 第3回は、中学生から幼児まで3人のお子さんを持つお父さんで、富勢小学校おやじの会の事務局を務められている小林剛さんにインタビューした内容をお伝えします。
 ☎放射線対策室☎7168-1036



ワレエトーク

放射線と向き合う
 第3回

平成24年
11月15日号

子どもと未来の柏のために

放射線対策 NEWS NO.021

ニュース

掲載情報は個別に記載したものを除き11月6日現在のものです

子ども関連施設を中心に除染を進めています ～途中経過と費用～

3月に策定した柏市除染実施計画に基づき、市では子ども関連施設を中心に除染を進めてきました。今回は、10月末時点における主な施設の除染の進行状況と、除染作業に要した費用についてお知らせします。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

市立小・中学校、高等学校

全ての小学校で、除染作業を実施しました



線量目標 小学校:地上5センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満
中・高等学校:地上50センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満

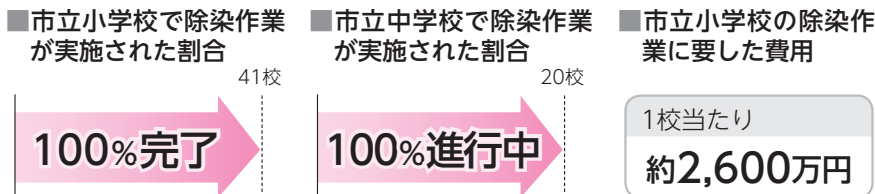
進行状況 8月末には全ての小学校の除染作業が終了し、現在は中学校の除染作業が全20校で進行しています。高等学校は今年度中に行う予定です
※柏の葉小は、福島第一原子力発電所の事故後の施設施工のため放射線量が低く、除染工事は行っていません



▲安心して運動会が行われました
(花野井小学校)

作業内容 小学校の除染作業では、校庭と校舎周辺の表土除去、校舎屋上と体育館屋根等の堆積物除去、学校敷地内側溝等の堆積物の除去や高圧洗浄などを行いました

除染費用 小学校の除染作業に要した費用は、総額で約10億7,000万円、1校当たり約2,600万円となりました



☎学校企画室 ☎7191-7210

公園

約44%の公園で、除染作業を実施しています



線量目標 地上50センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満

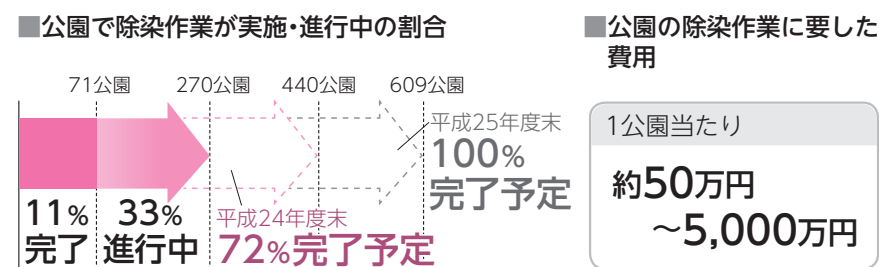
進行状況 市が管理している635カ所の公園では、10月末現在、線量目標を達成していない609公園に対し除染作業を進めています。71公園で除染作業を終了、199公園で作業が進行中です。今年度内にさらに170公園の除染に着手する予定です



▲市民が思い思いに憩いの時間を過ごしています(大津ヶ丘中央公園)

作業内容 土壌・芝生等の表土削り取り、遊具・ベンチ等の洗浄、砂場の砂の入れ替えなどを行っています

除染費用 これまで行った71公園に要した費用は、総額約3億1,500万円となります。公園は、敷地の広さがそれぞれ異なることから、1公園に掛かる費用も、約50万円～5,000万円と幅があります



☎公園管理課 ☎7167-1309

保育園・幼稚園

全ての園で、除染作業を実施しました



線量目標 地上5センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満

進行状況 認可保育園、市立・私立幼稚園では、全ての園で除染作業が終了しました

作業内容 園庭と園舎周辺の表土除去、園舎屋上・屋根、排水口周り等の堆積物の除去などを行いました



▲元気に外遊びを楽しんでいます
(桜台保育園)

除染費用 保育園・幼稚園の除染作業に要した費用は、総額で約1億5,800万円で、1園当たり約220万円となりました



☎保育園 ☎7167-1137・☎児童育成課 ☎7167-1595・☎学校企画室 ☎7191-7210

屋外スポーツ施設

約45%の施設で、除染作業を実施しています



線量目標 地上50センチメートルで毎時0.23マイクロシーベルト未満

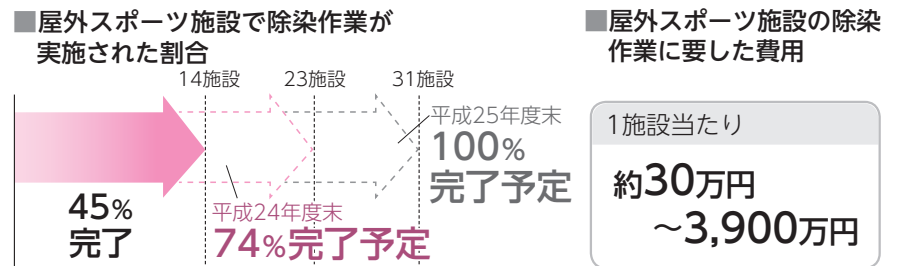
進行状況 市が管理している31の施設では、10月末現在、14施設で除染作業を終了しました。今年度内にさらに9施設の除染に着手する予定です

作業内容 土壌・芝生等の表土削り取り、屋外トイレ・ベンチ、倉庫の屋根等の堆積物の除去、敷地内側溝の堆積物除去などを行っています



▲スポーツを満喫しています
(逆井運動場多目的広場)

除染費用 これまで行った14施設に要した費用は、総額約1億3,400万円となります。スポーツ施設も公園と同様に、敷地の広さがそれぞれ異なることから、1施設に掛かる費用は、約30万円～3,900万円と幅があります



☎スポーツ課 ☎7191-7399

※各施設の除染費用は、支払額が確定していないものについては、契約額で算出しています

平成25年度末までの除染経費は総額約53億円

市の除染対策に要する費用は、平成23年度の着手時から柏市除染実施計画期間の平成25年度末までで、総額約53億円(*)を見込んでいます。放射線対策として見た場合は、除染対策以外に焼却灰・汚泥処理なども含まれるため、金額はさらに増えることとなります。

これらの費用は、引き続き国と東京電力に負担を求めていきます。

※平成23年度は決算見込み額、24年度は当初・補正(9月まで)予算額、25年度は除染実施計画策定時の予定額を積み上げたもの